



ほけんだより

はやり目について

夏になるとプールが恋しくなりますが、特に、この季節で気をつけなければならない感染症として「プール熱」があります。これは「はやり目」の一つで、この感染症に限らず、白目の部分が赤くなり、目やにが出るのであれば、いつも「はやり目」の可能性を考える必要があります。

「はやり目」はウイルス性の急性結膜炎で、短期間に集団的に発生し、感染力も非常に強いので、感染予防がとても大切です。

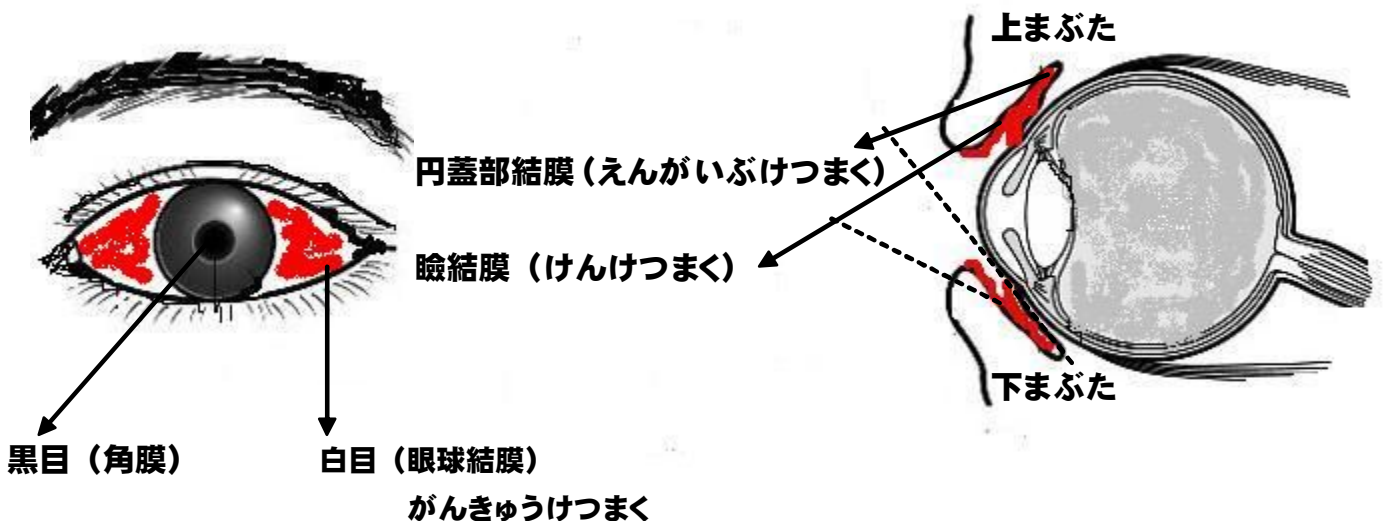
ウイルスってなに？

ウイルスは、細菌よりも小さい目に見えない微生物で、自分だけで生きることができないため、人や動物の細胞内に侵入し、その細胞を自分の住みやすいように変えて住み着きます。ウイルスの住み着いた細胞はやがて衰え、死んでしまい、病気になります。ところが、ウイルスに対する人や動物の抵抗力が強い時は、ウイルスは活動することができないので、病気になりません。ウイルスに侵されないためには、強い体を作ることも大切です。

どんな症状がでるの？

結膜とは、黒目(角膜)のまわりの白目の表面と、上下まぶたの裏側までを覆っている粘膜です。そこに炎症が起こると、結膜が赤くなったり(充血)、まぶたの裏側にブツブツができて目やにや涙が増え、しょぼしょぼ感、ゴロゴロ感、まぶしい感じなどが現れます。

症状がひどくなると、出血、耳の前のリンパ腺の腫れ、まぶたの急激な腫れ、白目の部分がブヨブヨしてくる(結膜浮腫)、発熱などが起こることもあります。



どんな種類がありますか？

種 類	症 状
流行性角結膜炎 (アデノウイルス4, 8, 19, 37型感染症)	まぶたの裏側のブツブツや充血, まぶたの腫れ, 流涙などの症状が激しく現れます。感染してから7~14日で発病し治るまでに10日前後かかります。
咽頭結膜熱 (別名プール熱) (アデノウイルス4, 3型感染症)	プールで感染することがあり, プール熱とも呼ばれます。結膜にブツブツができて, 咽頭炎による発熱を起こします。感染して5~7日で発病します。
急性出血性結膜炎 (エンテロウイルス70型感染症)	感染してから1~2日後に突然, 目の白い部分に出血を起こし, ゴロゴロ感, 充血, まぶしさなどが現れ, 結膜にブツブツができます。

治療はどうするの？

この病気に有効な薬はないので, ウイルスに対する抵抗力をつけるため, 栄養を十分にとって体力をおとさないことが大切です。また, 補助的に他の感染を起こさないようにするために抗菌点眼薬や, 炎症をおさえるためにステロイド点眼薬などを使用します。

適切な治療を行わないと, 目の黒い部分 (角膜) に濁りを残し, 視力低下の原因になることがあります。一番大切なことは, 他の人にうつさないように注意をすることです。

どのようなことに注意したらいいの？

- 1 目をこすらないよう気をつけ, 手洗いを十分に行うこと。
- 2 休養をとって体力をおとさないこと。
- 3 幼稚園, 保育所, 学校は医師の許可があるまで休むこと。
- 4 人混みには出かけること。
- 5 医師の許可があるまでプールに入らないこと。
- 6 お風呂は, 家族の中で最後に入ること。
- 7 タオル, 洗面用具などは, 家族のものと別にする。

